

經濟論叢

第193卷 第1号

小島專孝教授退職記念號

献辞	江上雅彦	
論文		
ロバートソン『産業変動の研究』とアフタリオン	小島專孝	1
初期ケインズの講義と貨幣理論	伊藤宣広	29
チュルゴの「価値と貨幣」	黒木龍三	49
「論理」を發掘する経済学史研究 —小島教授のホートリー・コネクション再考—	吉田雅明	59
経済学 1933年—現代経済学の胎動—	根井雅弘	73
J. R. コモンズのヴィクセル利子理論批判 —R. G. ホートレーの影響を中心に—	宇仁宏幸	85
カレツキアン・モデルの基本骨格 —短期モデルと長期モデル—	佐々木啓明	107
経済学における「曖昧性」の解釈	若井克俊	123

小島專孝 教授 略歴・著作等目録

平成31年2月

京大經濟學會

〔京都大学経済学会役員〕 (五十音順)

	ステイーブン・E・アイブンス	(学会委員)	田千	中葉	彰織
	秋砂		アスリ	アスリ	早
	依稲		徳西	賀田	早
	岩宇		西根	山井	芳
(評議員長)	江王	(学会委員)	長原	谷川	祐
(学会委員)	岡菊		久久	野	慎
(学会委員)	北草		久久	野	雅
(学会委員)	黒高		藤松	本井	良
	小坂		文諸	富井	秀
	佐澤	(監査委員)	安矢	野内	憲
	塩島	(学会)	山山	田喜	秀
	神末	(主任)	遊劉	井林	啓
	相関	(学会委員)	若若	林邊	世
	武竹		渡	大	大
					一
					德
					克
					直
					靖
					純
					永
					子

——既刊目次——

第192巻 第4号

論 文

- ロバートソン『産業変動の研究』とマーシャル的伝統 …………… 小 島 専 孝
 査読付き論文
- 『サー・ハーキュリス・ラングリッシへの手紙』における
 バークの国家論・宗教論・歴史論
 —複合国家的視角からの分析— …………… 貫 龍 太
- ジョージ・バークリーの『受動的服従』に対する考察
 —ジョン・ロックの『統治二論』との関係を中心に—
 …………… 武 田 智 紀
- 食料価格上昇局面における家計消費とエンゲル係数
 —所得階層別の変化要因の分析—
 …………… 小嶋大造・大澤秀暁・村上太郎・福島宏祐・小池孝英

『経済論叢』投稿・執筆要領（抄）

2018年6月1日

京都大学経済学会委員会

1. 本誌通常号の「論文」には、本学会会員、および本学会評議員の推薦がある非会員が投稿することができる。本誌通常号の「研究ノート」、「書評」、「調査・サーベイ」には、本学会評議員、および本学会評議員の推薦がある者が投稿することができる。
2. 本学会会員の投稿料は無料とする。本学会評議員の推薦がある非会員が投稿者である場合は、投稿料を10,000円とする。但し、依頼原稿は投稿料を徴収しない。
3. 本誌通常号の「論文」に、本学会評議員・名誉会員以外の者から投稿があった場合は、レフェリー2名で審査を行う。但し、修士課程または博士後期課程に在籍する者の投稿論文は、論文執筆明細の指導教員の欄に署名がある場合に、レフェリー1名で審査を行う。レフェリー審査に基づき本学会委員会が掲載の可否〔(1)掲載可、(2)改訂の上、掲載可、(3)改訂の上、再審査、(4)掲載不可〕を決定する。また、レフェリー審査を受けた論文については、掲載時に「査読付き論文」である旨を明記する。
4. 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に帰属する。したがって、他で当該論文等を使用する場合は、本学会の許諾が必要になる。
5. 本誌に掲載された論文等の全文をデータベース化し、京都大学図書館機構が運営する京都大学学術情報リポジトリ KURENAI に公開する。
6. 原稿は横書きとし、完全原稿であること。A4版横書き1ページ35字×30行で作成した投稿論文の電子ファイル一式（マイクロソフト・ワードによるもの。図表も電子ファイル化すること。）を電子メールの添付ファイルで、投稿者である責任著者が本学会に送付する。
7. 投稿者である責任著者は、本学会ホームページにある論文執筆明細をダウンロードし、論文執筆明細の電子ファイルを投稿論文の電子ファイル一式に添えて、電子メールの添付ファイルで本学会へ送付する。論文執筆明細には、日本語タイトルと氏名、英語タイトル、ローマ字表記氏名、所属機関、連絡先住所、電話番号、Eメールアドレス、および、投稿者が学生の場合は指導教員署名を記入すること。
8. 投稿論文の制限字数は下記のようにする。
『経済論叢』 論文：24,000字以内。
研究ノート：12,000字以内。
書評：8,000字以内。
調査・サーベイ：34,000字以内。
図版および表は1枚400字に換算する。
9. 論文の執筆には原則として現代かなづかい、常用漢字を用いること。

以上

執筆 者 紹 介 (掲載順)

小 島 專 孝	京都大学大学院経済学研究科教授
伊 藤 宣 広	高崎経済大学経済学部教授
黒 木 龍 三	立教大学経済学部教授
吉 田 雅 明	専修大学経済学部教授
根 井 雅 弘	京都大学大学院経済学研究科教授
宇 仁 宏 幸	京都大学大学院経済学研究科教授
佐々木 啓 明	京都大学大学院経済学研究科教授
若 井 克 俊	京都大学大学院経済学研究科教授

平成31年2月15日印刷
平成31年2月25日発行

編集兼
発行人

京 都 大 学 経 済 学 会

発行所

京 都 大 学 経 済 学 会
606-8501 京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町
振替口座01090-6-17219番

制作発売

京 都 大 学 学 術 出 版 会
606-8315 京 都 市 左 京 区 吉 田 近 衛 町 69



9784814002207

ISBN978-4-8140-0220-7 C3333 ¥2380E

定価：本体 2380円(税別)



1923333023807

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 193, No. 1

February 2019

In Commemoration of the Retirement of Professor Hirotaka KOJIMA

CONTENTS

Dedication to Professor Hirotaka Kojima	Masahiko EGAMI
General Article :	
D. H. Robertson's <i>Study of Economic Fluctuation</i> and Albert Aftalion	Hirotaka KOJIMA
Keynes's Early Lectures and the Theory of Money	Nobuhiro ITO
Turgot's Value and Money	Ryuzo KUROKI
Prof. Kojima's Logic-excavating style of History of Economic Thought	
Research: Hawtrey Connection Reconsidered	Masaaki YOSHIDA
Economics of 1933: A Seminal Year of Contemporary Economics	Masahiro NEI
John R. Commons' Criticism of Wicksell's Theory of Interest:	
Focusing on an influence of R. G. Hawtrey	Hiroyuki UNI
The Basic Framework of the Kaleckian Model of Growth and Distribution:	
Short-run Model and Long-run Model	Hiroaki SASAKI
On an Interpretation of Ambiguity in Economics	Katsutoshi WAKAI
Brief Biography of Prof. H. Kojima / Bibliography of Prof. H. Kojima's Works	

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI
(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)